



溝畑 宏

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団理事

みぞはたひろし◎1960年、京都府生まれ。1985年、東京大学法学部卒業後、自治省（現・総務省）入省。1990年、大分県庁出向。2006年、総務省退職。サッカーチーム「大分トリニータ」の設立運営に関わり04～09年代表取締役。10年1月から12年3月まで観光庁長官。12年5月より内閣官房参与。近著に『溝畑流・日本列島観光論 逆転こそ、Nippon!』（講談社）がある。

「韓昌祐・哲アカデミー」の設立を アジアのリーダーを育てる

持ち前の知的好奇心と類まれな行動力^{たぐひ}で、日韓文化交流のパイプを培ってきたお二人。次のテーマは架け橋となる人材育成だという。話題は韓昌祐理事長の志を具現化する教育機関設立に及び、大いに盛り上がった。

撮影：渡辺誠／構成・文：大田由紀江



日韓の架け橋として生きた李方子

溝畑 池坊先生の大伯母様は、大韓帝国最後の皇太子、李垠殿下に嫁がれた梨本宮方子女王と伺いました。まさに日韓の架け橋として波瀾の生涯を送られた方です。先生が韓昌祐・哲文化財団の理事として日韓の親善に力を尽くされる理由の一つでしょうか。

池坊 そうですね。理事をお引き受けしたのは、京都での地域活動を通して韓理事長と知り合い、そのお人柄と理念に魅かれてのことですが、李方子妃殿下のDNAを受け継いでいることは、私の大きな誇りです。

久邇宮朝彦親王の第4王子・梨本宮守正王が方子女王の父、第6王女素子女王が私の母方の祖母ですから、方子女王と母・夏子は従姉妹同士になります。ちなみに第3王子・久邇宮邦彦王の第1

池坊保子

公益財団法人 韓昌祐・哲文化財団理事

いけのぼうやすこ◎東京都生まれ。学習院大学文学部在学中に華道家元・池坊四十五世専永と結婚。池坊学園理事長並びに学園長を経て、1996年、衆議院近畿比例区より初当選。2012年10月、衆議院議員生活15年を区切りに引退を表明。文部科学大臣政務官、衆議院・文部科学委員長、文部科学副大臣を歴任。近著に『美しい日本のしきたり』（角川SSC新書）、『華の血族』（新潮社）がある。



王女、良子女王ながこが昭和天皇の後、香淳皇后こうじゆんです。溝畑 王朝絵巻ですね。方子女王はご自身の婚姻

を、1916年の夏季休暇中に新聞報道で読み、初めて知ったと伝えられています。

池坊 「内鮮融和」のシンボルとして国が決めた政略結婚です。15歳の少女ですからショックでしたでしょう。でも皇族の一員として友好のお役に立てるの新しい思いを新たにされ、新学期には朝

鮮式に髪を結いあげて登校し、同級生を感動させたとか。

溝畑 なるほど。朝鮮女性として殿下と共に生きる決意を早くも固めておられた。でも前途は多難ですよね。1919年に李垠殿下の父、李太王(退位後の高宗皇帝コングン)が亡くなると日本による暗殺という風聞が流れ、反日・独立の機運に火がついて、三・一独立運動が起こる。日本の武力によって弾圧されますが、対日感情がよくなることはけっしてない。李王朝に日本人の血が混ざることへの抵抗感も大きかったとききます。

池坊 はい。でも1920年の挙式以来、ご夫婦仲はとても睦まじかったそうですよ。李垠殿下はわずか10歳の時に両親から引き離され、留学の名目で人身御供ひみことなって来日。そのまま王族として日本での暮らしを強いられています。ご苦労を重ねられただけに、思いやり深く温かなお人柄だったとか。歴史に翻弄はんろうされればされるほど、心を通い合わせていかれたのでしょうか。

溝畑 それが日本の敗戦で皇籍離脱。すべての身分と財産を失ってしまう。



池坊 経済的に困窮し、お屋敷は西武グループに売却しました。

溝畑 旧赤坂プリンスホテルですね。

池坊 解放後も朝鮮半島の政情は長く不安定でしたから、李王朝の継承者を利用しようとする勢力もあったようです。大韓民国国民として、お二人の念願の帰国が叶ったのは18年後の1963年。朴正熙政権下ですね。ただ李垠殿下はすでに脳梗

塞で体調が思わしくなく、そのまま入院。1970年に亡くなります。方子妃殿下がご立派だったのは、殿下の遺志を継ぎ、韓国の人々の役に立とうと福祉活動に尽くされたこと。身体障害者施設明暉園と、精神薄弱児のための教育機関慈恵学校を設立しました。得意の七宝焼きを制作して資金の一助にしたそうです。

1989年に亡くなったとき、葬儀は準国葬として扱われ姜英勳首相が参列、古式にのっとった葬列は多くの韓国国民の涙に見送られました。韓国国民勳章「無窮花章」を授与され、名実ともに日韓を結ぶ架け橋となったのです。

溝畑 矜持と信念を貫かれた一生でしたね。政治も国境も乗り越えた見事な生き様です。

池坊 はい。悔いはなかったと思いますよ。

溝畑さんと韓理事長の出会いは？ 確か京都のご出身ですよ。

韓理事長の義侠心に救われて

溝畑 はい。父の溝畑茂は国際的な数学者で、京

都大学の名誉教授をしておりました。

韓理事長のお名前をたまたま知ったのは高校時代。後輩が京都商業高校野球部のピッチャーで、甲子園出場が決まり応援に通ったんです。そのときの5番レフトが次男の韓裕君（現・マルハン代表取締役社長）。スコアボードにあのころは珍しかった民族名が堂々と掲出され話題を呼んだ。そこでオヤジさんは裸一貫から事業を成功させた在日1世の名士やと聞きました。初戦で裕君が前橋工業高校の渡辺久信君（現・埼玉西武ライオンズ監督）からドカンと大きいのを打ったことを覚えています。準優勝まで勝ち進みました。

池坊 青春の一コマですね。でも当時、理事長に目にかかったわけではないのね？

溝畑 ええ。マルハン本社に理事長をお訪ねしたのは、忘れもしない2005年7月。サッカーチーム「大分トリニータ」の社長として、スポンサーになっていただきたいと営業に押し掛けたのです。私は人生の瀬戸際に立っていました。

池坊 京都人のあなたが、どんなご縁で大分のチームを率いていらしたの？

溝畑 私は自治省（現・総務省）の役人で1990年に大分県企画調整課へ配属になりました。そのでの命題は地方の活性化。いいアイデアはないかと模索しているとき、イタリアのヴェローナ大学に招かれていた父から「サッカーW杯をやつとるからすぐ見にこい。すごいぞ！」と電話がありました。飛んで行ったら街の盛り上がりは素晴らしい。飛んで行ったら街の盛り上がりは素晴らしい。

ヴェローナの人口は27万。大分は60万。ならば大分だつて開催は不可能じゃない。地元チームを立ち上げれば、永続的な街興しになるぞと確信したんです。

池坊 W杯の日韓共催は2002年ですね。そこに県として名乗りを上げた。

溝畑 当時の県知事が一村一品運動などユニークな経済政策で知られた平松守彦氏で、賛同を得られました。ただし地元には招聘条件であるチームもスタジアムも何もない。「身の丈に合わないことを言うな。しゃからしか（うるさい！）」と反対論もかなりあつて、それこそ徒手空拳でスタートし、なんとか前身の大分FC・トリニティが立ち



上がったのが94年。そこでチーム作りの基本を学ぼうと韓国サッカー協会に相談に行っただけです。
池坊 当時、韓国はW杯開催地を競うライバルだったんですよ。

溝畑 無論びっくりされました。そんな日本人は初めてだと。でも教えを乞いに来たからには、あ

んなは弟分。応援したると、ノウハウとともに皇甫官、李永鎮など強豪選手を破格のギャラで紹介してくれたんですよ。

池坊 なるほど。ライバルこそ世界にこぎだすベストパートナーですね。それに韓国は義理人情に厚いお国柄。日韓の草の根交流をなさっていた。

溝畑 97年にJリーグ入会、2002年にW杯ご当地開催。03年にJ1昇格。実力もつき、地元サポーターも増えていったんですが、資金繰りはいつも綱渡りでした。04年に大口スポンサーが経営不振から撤退したとき、私は腹をくくって公務員を辞職し、大分トリニータの社長を引き受けました。

池坊 まさしく背水の陣。

溝畑 天啓のように浮かんできたのが、韓理事長の「死ぬまで夢を追いなあかん」というモットーです。ゼロからサッカー日本一、世界一をめざす私の熱い思いを、理事長ならきくと理解してくださいるだろうと。

池坊 これに応えてマルハンがスポンサーを引き



受けてくれたのね。社会に利益を還元^{かんげん}することが企業の存在意義だと考えておられる方だから、大分の子どもたちの夢を守ってあげたかったのでしょう。

溝畑 救世主でした。おかげで08年にナビスコカップ優勝。悲願の日本一を達成し、韓理事長にも韓国サッカー協会にも恩返しができたのです。

私の父も地球儀を前にして「世界という大きな海^{うみ}原^{はら}で一流の男をめざせ」を子どもたちへの家訓にしていました。サッカーを通して多くの仲間と共に国際舞台に立てたのは得難い体験でしたね。大分が大好き！と言ってくれる子どもたちも増えたと。

日韓の美が結実した「薩摩焼」

池坊 国際人として生きる第1歩は、まず自分の故郷に誇りを持つことですよ。自分に自信が持てない人間は、相手国の良さを受け入れることができません。

そして美に対する感性を磨いてほしいと思います



す。朝鮮からもたらされ、日本で花開いた美の一つに「薩摩焼」がありますでしよ。

豊臣秀吉が起こした文禄・慶長の役（壬辰・丁酉倭乱）では約5万〜6万人の人々が朝鮮半島から拉致されてきたといわれ、薩摩の地にはおよそ80名の陶工が連れて来られたと記録が残っています。その悲劇は司馬遼太郎の『故郷忘じがたう候』に詳しく描かれ、日本人として胸が痛むのですか…。

ただ藩主島津義弘は千利休にも師事した茶人でしたから、陶工たちを敬意をもって遇し、歴代藩主も保護政策を取りました。やがて薩摩焼は武家にも民衆にも愛される独自の芸術に発展。明治の初めに名人12代沈壽官が生み出した巧緻な錦手や透彫の名品は、ウィーンの万国博覧会に出品され各国から絶賛されています。

美は世界の共通言語。怨讐を超えて人の心をつないでくれるものなんです。

溝畑 おっしゃる通り！ 文化、スポーツ、学術、経済、観光…。国境はありません。

最近、竹島（独島）や尖閣諸島が政治問題にな

り日韓・日中関係がギクシャクしています。でも民と民の交流で培った太いパイプがありますから、必ず乗り越えられると思っていますよ。

池坊 政治の世界には権力の駆け引きと、紆余曲折がつきもの。しかし長いスパンで見たら、国民一人ひとりが持つ生命力のほうが遥かに優れている。民の意思、マインド、力の結集が人類を動かしていくんです。

観光庁長官として実感した日中韓の絆

溝畑 私は2010年1月から12年3月まで、国土交通省の観光庁長官を拝命。海外からの観光客誘致で日本を元気にすべく奔走してきました。

11年5月に韓国^{韓国}の平昌郡^{平昌郡}・春川市^{春川市}で開かれた日中韓観光大臣会合では、観光トライアングル関係にあることを確認しています。欧米から東アジア観光に来たら、3カ国を周遊したいと思うのが人情ですよ。当然1カ国が試験——たとえば08年の四川大地震、10年の延坪島砲撃事件^{延坪島砲撃事件}、11年の東日本大震災——に遭うと3カ国同時に観光事

業が落ち込む。危機管理情報を共有し共存共栄を図ろうと3大臣が肝胆相照らし、交誼を深めました。グローバルビジネスの時代、観光と経済の絆は民の間で強固に結ばれています。

手味噌ですが、長官時代から私のトレードマークは日本の花・桜をイメージしたピンクのネクタイなんです。これで第39回ベストドレッサー賞をいただきました(笑)。

池坊 よくお似合いよ。襟元のダルマのバッジも可愛らしいわね(笑)。

溝畑 七転び八起き。逆境さんいらつしやい。あくなきチャレンジ精神で自分を磨いてこられた韓理事長の生き様のシンボルです。

池坊 日中韓の親善事業の一助として、私は超党派の国会議員で構成される『子どもの未来を考える議員連盟』の活動に力を注ぎました。3カ国の子どもたちが一堂に集い、文化遺産を見学したり、絵本を創作して交換したり。心の柔らかな世代はあつという間に打ち解けて、一生ものの友情が生まれます。



2011年5月、韓国平昌で開催された日中韓観光大臣
会合懇談会の一コマ。大きな木鉢でビビンバを混ぜる

人材育成を通して日韓交流を

溝畑 いいですね。韓昌祐・哲文化財団の事業として、日韓の子どもたちの交換留学を支援してはどうでしょうか。優秀で意欲のある生徒を対象に奨学金制度を設けて、単発ではなく、小学生から大学生まで15年スパン、継続的に双方の学校で学んでもらう。日韓の素晴らしい架け橋になりますよ。

池坊 そうね。「人材育成」はとても大事なテーマだわ。特に日本の子どもたちにとって、いい刺激になると思います。時代の閉塞感というのかしら、実は最近の日本人の内向き志向が心配なんです。

自助自立。自己責任。その肝心要かんじんかなうの部分が変わってきているような気がして。

父の梅溪通虎うめいにつぐこは宮中の昇殿を許された堂上華族の末裔まつえいで、戦前は貴族院議員でしたが、私は「自分の人生は自分の責任において選びなさい。けっして人のせいにしてはダメです」と厳しく躰しづけられました。武に頼らず千年を生き抜いた公家の知

恵ですね。他人に責任を押し付ける生き方に甘ん

じたら、国際社会では絶対に尊敬を得られません。

溝畑 よくわかります。私のまわりにも自分は努力もせずに、不平不満を人のせい、世の中のせいにする人間が増えています。

ネットの世界でもときどきレベルの低い「嫌韓論者」や「似非右翼」が騒いでいますが、これも根っこは同じですね。中身のない妬み、嫉み、悪口のオンパレード。他人や他国を誹謗中傷すると、自分が偉くなったような錯覚に陥るんだな。負の連鎖ですよ。

池坊 悪口と愚痴からは何も生まれませんものね。生産性はゼロ。未来を担う若い人材のエネルギを、プラス思考に導いていくのは先を歩む我々の務めです。

財団で本格的な「塾」を立ち上げられないかしら？ 松下幸之助さんの「松下政経塾」や、稲盛和夫さんの「盛和塾」と並び称されるような、将来を見据えた教育機関です。日本と韓国、両方に拠点を置いて。

溝畑 それはいい！ 大賛成です。仮称「韓昌祐・

哲アカデミー」でどうですか。

池坊先生は文部科学副大臣や文部科学大臣政務官などを歴任した教育行政のスペシャリスト。及ばずながら私も大分県で立命館アジア太平洋大学の創立に尽力した経験がありますし、財団の理事や評議員の方々も人材の宝庫です。必ず実現できますよ。

韓昌祐・哲アカデミーは、できるだけ幅広い分野の人材育成を手掛けたいですね。松下政経塾は政治家、盛和塾は経済人に特化し過ぎています。もっとトータルな人間味豊かな人材をめざしましょうよ。

池坊 分野としては教育、文化、学術、観光、スポーツの5本が柱になりますね。

まずは要となる教育ジャンルをきちんと構築したいわ。先ほど申し上げた日韓の子どもたちの交換留学はもちろんだけど、同時に日韓の教育者の連携と勉強会が必要です。隣国としてどんなお付き合いをめざすのか、先生同士のコンセンサスがとれていないとブレてしまいます。それに日本も韓国もエリート教育の歪みに苦慮してるでしょう。



真の国際人をどう育てるか、大いに議論を深めてほしいところです。

溝畑 100年後、200年後を考えて、各分野とも低年齢層から門戸を開くといいですよ。ここで育った先輩が次に続く後輩に、国境を越えてアドバイスできるようにになれば、継続性と永続性につながります。

韓理事長にも教壇に立っていただきたいな。マルハンの社員の皆さんは、サービス業ということに使命感と誇りをもって生き生きと働いているでしょう。それは韓理事長というお手本があるからです。「常に夢を忘れない」「向上心を持ち続ける」。これぞ人材育成の原点。

池坊 それと「相手のいい面に目を向ける」「悪口と愚痴を言わない」もね。きつとアジアのリーダーを輩出する素晴らしいアカデミーになるわ。溝畑 楽しみです。さっそく企画立案して、理事会と理事長に提言しましょう！